「ふれあいの里山」復活大作戦



日時	2019年 9月 7日(土) 9時00分~ 14時30分	
場所	金ヶ崎公園	
	エコウイング会員/9名(午前のみ4名)、その他2名(午前のみ1名)、 事務局/1名	計/12名

午前

9月に入っても今年は残暑が厳しく、今日の金ヶ崎公園は最高気温が33℃近くまで上がりました。 その中で、小2・小6・高2を含め12名の活動メンバーが集まりました。まず公園の会議室でミーティ ングの後、いつものように公園内を巡り、昆虫を中心とした自然観察をしました。今日初めて参加した 小2のちびっ子は、昆虫が大好きで、色々な昆虫を捕らえては興味深そうに観察していました。 暑さとやぶ蚊に悩まされながらの観察を終え、12時少し前に会議室に戻り、昼休みとしました。

●午後

午後は、都合で帰宅するメンバーが多く、7名だけの活動になりました。その7名で、金ヶ崎公園の 中を流れる小川のメダカや小海老などの生き物を移住させる作業に取り組みました。公園の小川 は、ふもとの北浦池の水をポンプアップして上流へ送水し、循環させていますが、ポンプの故障や池 の水位低下で2年ほど流れが中断し、ようやく2か月ほど前に回復しました。その間に小川の途中に ある小さな池のメダカなどの生き物がいなくなったので、今日は下流に生き残っていたメダカなどを捕 獲して、上流の池に放流しました。

今日は通常より1時間ほど早く作業を終え、会議室に戻って一休み後、14時30分ごろ活動を終了 しました。

10月の活動は、定例活動日の都合が悪く参加できないメンバーが多いため、中止とします。 そのかわり、10月26日(土)に明石自然かんきょう塾が金ヶ崎公園で開催されます。今回は、公園 内の植生調査などが予定されています。ご都合のよい皆様は、スタッフとしてかんきょう塾にご参加を お願いいたします。

当日は12時までに公園の会議室にご集合ください。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

朝のミーティング



自然観察(その1)



メダカなどの捕獲作業









自然観察(その2)

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)、

先月は公園中に響いていたクマゼミの声が、今日はほとんど聞こえず、代わりにツクツクボウシが夏の終わ♪ りを告げていました。ほかにセミのなかまはミンミンゼミとアブラゼミを観察しました。チョウやガ、トンボ、ハチ、 コウチュウ、カマキリな、バッタどのなかまも色々と姿を見せました。

公園の小川に生えているミゾソバの葉の上には、たくさんのオンブバッタが見られました。1枚の写真に8匹 が撮影できました。

そのほかに、クチナシの葉にはオオスカシバの幼虫が、ヘクソカズラの葉にはホシホウジャクの幼虫が、ま たサザンカの葉にはチャドクガの幼虫がひしめき合っているのが観察されました。





ミンミンゼミ



アブラゼミ



ウラギンシジミ



キアゲハ



クロアゲハ



チャバネセセり



イチモンジセセリ



ヒメウラナミジャノメ



ベニスズメ



翅の傷んだオオトモエ





MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)



アオモンイトトンボのペア



シオカラトンボ(♂)



スズバチ



フタモンウバタマコメツキ



(サト)ユミアシゴミムシダマシ



ハラビロカマキリ



公園小川のミゾソバの葉に集まるオンブバッタ。全部で8匹います。



ハネナガイナゴ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その3)

オオスカシバの幼虫



ひしめき合うチャドクガの幼虫







野鳥では、今日も撮影できたのは獲物の青虫を食べるハクセキレイだけでした。その他の生き物では、まだカタツムリのなかまが見られました。

植物では、ほんの一部ですがハゼの木の葉が紅葉を始めていて、秋の訪れを感じました。公園の小川の池のほとりにはジュズダマが緑色の実をつけ、ススキの根元にはナンバンギセルの花が咲き始めていました。アケビの実も見つけましたが、まだ小さく食べごろではありません。かわりに、イヌビワの実が光沢のある黒い熟した実をつけていて、食べると甘い味が楽しめました。

青虫を捕らえたハクセキレイ

紅葉が始まったハゼの葉







ナンバンギセルの花



まだ小さいアケビの実



イヌビワの黒い光沢のある実



